

ぱんだ・ぞう・きりんぐみだより

きらら保育園 令和4年6月1日発行

緑がつややかで草も木もぐんぐん伸び、そろそろアジサイも色づく季節になりました。ぱんだ組の子どもたちは2階での生活にも慣れてきて、先生やお兄さんお姉さんの声を聞きながら、自分の事は自分でしようと頑張っています。ぞう組の子どもたちはすっかりお兄さんお姉さんになり、分からない事があれば教えてあげたり、手伝ってあげたりしてくれます。きりん組の子どもたちは給食の配膳や、お昼寝の時の布団運びなどを手伝ってくれたり、泣いている子がいると理由を聞いてくれたりしています。お部屋ではごっこ遊びやパズル、ぬり絵などをし、お天気の良い日には散歩に出かけたり、砂遊びをしたりしています。外遊びが好きな子どもたち、これからは梅雨の季節になり、雨の日も多くなると思いますが、お天気の良い日には、どんどんお散歩に出かけたいと思っています。

♪ 久しぶりのお砂場遊び ♪

お天気のいい日にお砂場に行ってきました。久しぶりのお砂場で、皆大喜び！大きな山を作ったり、お皿やコップに砂を入れおままごとをしたりして楽しみました。



🚌バスに乗ってお出かけしたよ🚌

園バスに乗って土崎の船公園（雄物岸街区公園）に行ってきました。船の形の遊具や、滑り台、ブランコがあり、少し急な滑り台を最初は怖がっていた子どもたちも、何度か滑っていると、笑顔で滑っていました。



給食の後片付けがんばってるよ

今までは食べた後の食器を先生たちが片付けていましたが、自分たちで片付けを頑張っています。食べ終わった食器をトレイにのせて運ぶのですが、ぱんだ組の子どもたちには難しいところもあり、先生と一緒に頑張っています。ぞう組きりん組の子どもたちも、飛沫ガードがあるため、トレイを支えながら食器を乗せることが難しいのですが、自分でやる！と意欲的に取り組んでいます。片付け終わった後「できた～」と言って、笑顔を見せてくれています。

